

陳 情 番 号	陳情第1号
件 名	議会の審議において、どの議員が、どの議案に「賛成」「反対」「棄権」したかが分かるような図を作り、自治体のホームページで公開することに関する陳情
受付年月日	令和7年1月17日
回付委員会	議会運営委員会
(陳 情 要 旨) 議会の審議において、どの議員が、どの議案に「賛成」「反対」「棄権」したかが分かるように、「議案の審議結果」「意見書・決議の審議結果」「請願・陳情の審議結果」が記載された見やすい図を作り、ホームページで公開していただきたい。また、陳情を審議していない議会においては、せめて市内在住者からの陳情及び議会事務局へ持参された陳情については、審議し、結果を公表していただきたい。 日本は民主主義国家であるため、国民は選挙で政治家を選ぶ。国民は、自分の理想を実現してくれると思える政治家に投票するが、自分の理想を実現してくれる政治家を見分けることは簡単ではない。選挙に立候補する人は、街頭演説やマニフェスト等で自分の考えを表明するが、守られないこともあるため、それだけでは十分とは言えない。 この陳情事項が実現すれば、市民は「政治家が言っていること」ではなく「政治家の実際の行動」を知ることができるため、自分の理想を実現してくれる政治家をより正確に選ぶことができる。 特に陳情は市民の直接の声であるため、陳情を審議し、その結果をホームページ等で公表すれば、市民は各議員の目的や態度をより正確に知ることができる。請願では、議員の意に沿わないものは受け付けてもらえないため、それができない。 どの議員が、どの議案に「賛成」「反対」「棄権」したかが分かるようにすることは、民意を政治に反映する上でとても重要なことであり、国民の知る権利であり、民主主義の根幹であり、政治家の怠慢や横暴を防ぐための重要な仕組みであると考えます。 このような理由から、この陳情事項を実現していただきたい。 (資料掲載略)	
結 果	令和7年3月26日 内容を了知する。